

### 3. みどりの効果の活用と役割分担

みどりの将来像の実現に向けて、次のような考え方をふまえ、みどりづくりに取り組んでいきます。

#### (1) みどりが持つ多様な効果の活用

みどりには、私たちの暮らしを支える様々な効果があります。中でもみどりを活用することによる、コミュニティ形成やにぎわいづくり、地域の魅力向上など、地域力を高める効果（媒体効果）に着目していきます。



## (2) 府・市町村・府民・NPO・企業などの役割分担

みどりの将来像を実現するためには、誰もが「みどりのまちづくり」の一役を担っていることを理解し、行動に移していくことが大切です。府、市町村、府民、NPO、企業などがそれぞれの役割分担のもと、連携・相互支援を図りながら、総合的にみどりづくりを推進します。

また、地域の特性や活動の主体、目的などに応じて、「自然」「ハード」「ソフト」の3つをバランスよく組み合わせ、効果的・効率的なみどりづくりを展開します。

